真岡市行政評価システム
評価対象年度　令和4　年度

事務事業マネージメントシート

作成日　令和5　年　05 月　15 日

事務事業名	井頭周辺活性化事業			担当	総合政策部　プロジェクト推進課　井頭周辺整備係
政策名	3	「にぎわいづくり」～まちの活力アップ！～		■ 総重（総合計画重点事業） □ 戦拡（総合戦略拡充事業）	□ 総新（総合計画新規事業） ■ 戦新（総合戦略新規事業）
施策名	1	農業の振興			
関連個別計画	真岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略			事業期間	□ 単年度のみ □ 毎年度実施（開始年度　　年度～） ■ 期間限定複数年度（　令和元　年度～　　年度）
法令根拠					
予算科目	1.一般会計	2.総務費	1.総務管理費	7.企画費	
予算科目					
予算科目					

事業概要

自然豊かな井頭公園を核として、周辺の井頭温泉、チャットパレス、あぐ里っ娘、井頭観光いちご園等について一体的な観光ゾーンの整備を図ることを目的に事業を展開する。
・令和元年度…庁内に井頭公園周辺整備検討委員会及び専門部会立ち上げ（提言書の取りまとめ）
・令和２年度…県及び市と各施設の指定管理者に観光協会を加えた６団体による井頭周辺エリア活性化協議会を組織（エリアが目指す将来像についての構想書を取りまとめ）
・令和３年度…「いがしらリゾート」の名称やロゴマークを決定し、更なるエリアの一体感と周遊性を目指した基本構想をとりまとめた。
・令和４年度…各施設の周遊を促すために、連絡遊歩道の整備や樹木伐採を実施。また、エリア初の合同イベント「いがしらリゾートアウトドアフェス」を開催し、多くの来場者を集めた。
また、井頭温泉やチャットパレスについては、令和元年度に温浴施設の再生実績のある民間事業者にコンサルティング業務を委託し、リニューアルプラン等の提案を受け、令和２年度には国の実証事業によりチャットパレスにグランピング施設を導入し、利用者から好評を得たことから、Ｒ３年度には３棟増設し、令和４年度より５棟体制で本格運用を図っている。更に施設の魅力向上を目指し、屋外トイレの整備やＷｉ-Ｆｉ・防犯カメラも設置した。

1.　現状把握の部　(1）事務事業の目的と指標

① 手段（主な活動）

4年度実績
井頭周辺エリア活性化協議会の開催
井頭周辺エリア（南側エリア）活性化基本構想推進
先進地視察（おふろcafeUTATANE・THE FARM）
井頭温泉季節メニューの開発
チャットパレスグランピング施設の魅力向上（屋外トイレ・Wi-Fi・防犯カメラ）設置
エリア初合同イベント「いがしらリゾートアウトドアフェス開催」

5年度計画
いがしらリゾート活性化協議会の開催
いがしらリゾート活性化推進部会の開催
井頭周辺エリア（南側エリア）活性化基本構想推進
先進地視察（おふろcafe）
いがしらリゾートアウトドアフェス開催（４回）
いがしらリゾート案内看板の設置

④活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移

	名称	単位	31 年度(実績)	2 年度(実績)	3 年度(実績)	4 年度(実績)	5 年度(見込)
ア	いがしらリゾート活性化協議会の開催	回		5	5	3	3
イ	井頭公園周辺整備検討委員会の開催	回	4	5	5	3	3
ウ	井頭公園周辺整備専門部会の開催	回	15	5	8	6	6
エ	先進地視察	回	6	0	1	1	2
オ	いがしらリゾート活性化協議会推進部会の開催	回				6	6

② 対象（誰、何を対象にしているのか）＊人や自然資源等

市民

⑤対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移

	名称	単位	31 年度(実績)	2 年度(実績)	3 年度(実績)	4 年度(実績)	5 年度(見込)
ア	真岡市民	人	79,324	78,874	78,592	77,635	77,578
イ							
ウ							
エ							
オ							

③ 意図（この事業によって、対象をどう変えるのか）

多様な観光やレクリエーションのニーズに応える観光交流拠点としての充実

⑥成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移

	名称	単位	31 年度(実績)	2 年度(実績)	3 年度(実績)	4 年度(実績)	5 年度(見込)
ア	井頭温泉入館者数	人	306,286	149,584	184,594	206,016	218,000
イ	チャットパレス宿泊者数	人	10,444	2,631	4,329	7,941	10,000
ウ	あぐ里っ娘利用者数	人	152,449	149,731	146,841	150,765	150,000
エ	井頭観光いちご園入場者数	人	25,629	8,813	13,661	17,107	19,000
オ	井頭公園利用者数（プール含む）	人	875,678	608,592	566,639	715,054	830,000

(2）総事業費の推移

				単位	31　年度(実績)	2　年度(実績)	3　年度(実績)	4　年度(実績)	5　年度(見込)
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	15,621	0	11,434	4,724
			県支出金	千円	0	0	0	0	0
			地方債	千円	0	0	0	0	0
			その他	千円	0	0	0	0	0
			一般財源	千円	9,161	6,960	85,186	18,900	11,167
	事業費計（A）			千円	9,161	22,581	85,186	30,334	15,891

2. １次評価の部　　＊原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 市の政策体系に結び付き、社会環境や住民ニーズ等を考慮した上で目的は妥当か？	■ 見直し余地はない　□ 見直し余地がある （評価理由） 総合計画2020-2024の政策３「にぎわいづくり」や第２期真岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略の基本目標２「真岡市へ新しい人の流れをつくる」に結びついた「井頭公園を核とした観光ゾーンの整備」事業である。
	②公共関与の妥当性 市が事業に関与する必要があるか？	■ 見直し余地はない　□ 見直し余地がある （評価理由） 市の施設を含む観光ゾーンの整備であり、市が行うのが妥当である。
	③対象と意図の妥当性 ・1枚目の②「対象」③「意図」は適切か？ ・対象を限定・追加する必要があるか？ ・意図を限定・追加する必要があるか？	■ 対象・意図を見直す必要はない　□ 対象を見直す必要がある　□ 意図を見直す必要がある （評価理由） 対象者は、市民を含む施設利用者であり適切である。
有効性評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるかどうか？ない場合の理由は適切か？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	□ 向上余地はない　■ 向上余地がある （評価理由） 令和４年度実績を見ても、コロナ以前（令和元年度）の数字には戻っておらず、利用者数はまだまだ低迷している。市の観光拠点となるよう、アフターコロナを見据えた更なる利用者の増加に向け、井頭温泉の魅力向上の推進やチャットパレスのグランピング施設の有効活用、またいがしらリゾートでの一体的なソフト事業の充実により新たな集客を図っていく必要がある。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 ・類似事業はないか、統合や連携はできないか？	■ 類似事業と統合・連携ができる（類似の事務事業名：井頭周辺農業拠点施設整備事業　） □ 類似事業と統合・連携できない（類似の事務事業名：　） □ 類似事業はない （評価理由） 農政課の井頭周辺農業拠点施設整備事業と連携し事業を推進している。
効率性評価	⑥事業費の削減余地 ・成果を下げずに実施主体の見直しによりコスト削減をできないか？ ・実施方法の適正化によりコスト削減をできないか？	■ 削減余地がない　□ 削減余地がある （評価理由） 国の補助金を活用するなど最小限の費用で事業推進している。

3. 改革・改善方向の部

（1）改革の方向性（改革案・実行計画）

□ 廃止　■ 見直し（ □：目的妥当性　■：有効性　□：効率性）　□ 統合　□ 継続

（2）課題、課題の克服の方向性

いがしらリゾートエリア内で連携したソフト事業の充実を図る。

（3）改革・改善による期待成果

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上		○	
	維持			
	低下			

4. 事務事業の２次評価結果（事業の総括と事業の方向性）

（1）１次評価結果の客観性と出来具合　□ 記述説明不足（説明責任不充分）　□ 評価内容が客観性を欠く　■ 評価内容は客観的と言える

（2）２次評価者としての評価結果

①目的妥当性　■ 適切　□ 見直し余地あり　　②有効性　□ 適切　■ 見直し余地あり

③効率性　■ 適切　□ 見直し余地あり

（3）２次評価者として判断した今後の事業の方向性

□ 廃止　□ 休止　□ 目的絞込み　□ 目的拡充

□ 事業統廃合　■ 事業のやり方改善

□ 予算削減　□ 予算増大

□ 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）

（4）その他２次評価会議で指摘された事項

エリアの価値を高めるため、一層の魅力創出を図る。

（5）改革・改善による期待成果

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上		○	
	維持			
	低下			